

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P27

誤) ※コスメティックQ&A辞典 P59,71 参照

↓

正) ※コスメティックQ&A事典 P59,71 参照

乳液とクリームは 何がちがうの？

乳液とクリームの成分は**油分以外**はよく似ています。乳液はスクワラン、オリーブ油、ホホバ油、シリコン油などの流動性油分が多く、クリームより固形成分やロウ類の比率が少ないため、**みずみずしく皮膚によくなじみます**。クリームは**油分が多くエモリエント**効果が高いです。



*コスメティック Q&A 辞典 P59,71 参照

正)コスメティックQ&A事典

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P43 <全身の部位で違う経皮吸収率>

文中

誤)前腕屈側(二の腕の内側)の → 正)前腕屈側の <(二の腕の内側)を削除>

図中

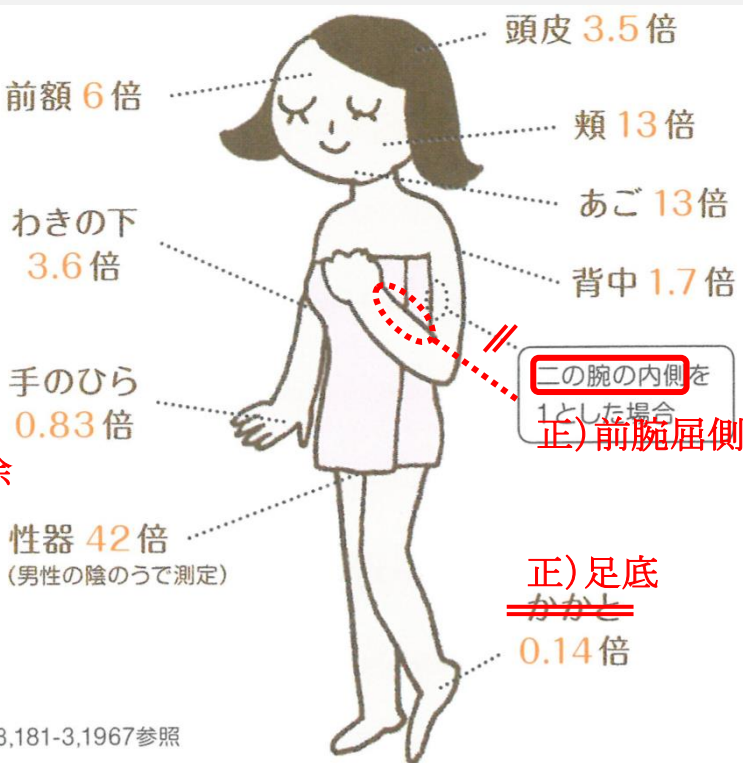
誤)二の腕の内側 → 正)前腕屈側

誤)<引出線の位置>二の腕の内側に向かう → 正)前腕屈側に向かう

誤)かかと → 正)足底

全身の 部位で違う 経皮吸収率

皮膚は場所により角層の厚さが違うため、化粧品や外用薬などの吸収率に差があります。前腕屈側 ~~二の腕の内側~~ の吸収量を1とした場合、前額ではその6倍、性器では42倍になります。



*Feldman RJ,et al.,J.Invest.Dermatol.,48,181-3,1967参照

[正誤表]

・P44 <背中ニキビはしっかりこすって洗うべき?>

誤)背中では顔よりも皮脂腺が多いため → 正)背中では皮脂腺が多いため(顔よりもを削除)

✗ 背中ニキビはしっかりこすって洗うべき?

ゴシゴシこすると角質が毛穴に落ち、逆にニキビの原因となる可能性があります。背中では顔よりも皮脂腺が多いため、皮脂をしっかりと落とせる洗浄力 ~~削除~~

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P81 <ニキビ跡のお手入れ方法>

誤)詳しくは本書P70参照 → 正)詳しくは本書P86, 87参照

< ニキビ跡のお手入れ方法 >

1 赤みが残ったら

治っても赤みが残った状態。**ビタミンC誘導体**や**抗炎症効果**のある成分を配合した化粧品や**イオン導入**が効果的。

2 シミが残ったら

炎症後色素沈着によるシミです。日焼けすると消えにくくなるので、紫外線対策を。**美白化粧品**や**ピーリング**が効果的。

3 クレーターが残ったら

化粧品では限度があるので、医療機関での**ケミカルピーリング**、**レチノイン酸**の塗り薬、**レーザー**を使った治療などもあります。



※詳しくは本書 **P70** 参照

正) P86, 87

[正誤表]

・P85 m-トラネキサム酸、カモミラETの効果

誤)メラニン生成・指令阻止 → 正)メラニン生成指令阻止

m-トラネキサム酸

(トラネキサム酸)

もともとは抗炎症剤として使われていたトラネキサム酸を、美白成分として開発したもの。

効果→ **抗炎症・メラニン生成・指令阻止**

正)メラニン生成指令阻止

効果→ **チロシナーゼ活性阻害**

カモミラET

(カミツレエキス)

ハーブのカモミールに含まれる成分。抗炎症作用をあわせもつ。成分名はカミツレエキス。



効果→ **抗炎症・メラニン生成・指令阻止**

正)メラニン生成指令阻止

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がございました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P90

誤)まぶたには汗腺がなく、皮脂腺も少なく、

↓

正)まぶたには汗腺や皮脂腺が少なく、

疲れた印象や老けた印象を与える目の下のくま。このくまにも種類があり、症状別に茶くま(色素沈着型)・黒くま(たるみ型)・青くま(血行不良型)の大きく3タイプに分けています。眼球の周りはクッションのような役割を果たすやわらかい脂肪で覆われていて、それをとっても薄いまぶたが支えています。まぶたには汗腺がなく、皮脂腺も少なく、角層も薄いので乾燥しやすく神経も敏感な状態です。さらに、まばたきなどで絶えず動く部分なので負担も相

正)汗腺や皮脂腺が少なく

[正誤表]

・P113 <活性酸素とは？>

誤)活性酵素 → 正)活性酸素

<2. 酸化>

「酸化」とは何かには酸素が結びつく働きのこと。鉄がさびたり、りんごの切り口が茶色に変色することも「酸化」なのです。これと同じような状態が、肌の上でも起こっているのです。フリーラジカルの攻撃を受けると皮脂が酸化し、過酸化脂質(肌のさび)へと変化します。これがニキビの原因になることが。また、真皮のコラーゲン線維などが活性酸素に攻撃されると、ハリ、弾力が低下してしまいます。いったん酸化が始まると、次々と連鎖反応で広がってしまいます。

フリーラジカルとは？

正)活性酸素 活性酸素とは？

フリーラジカルとはペアのいない電子をもった原子や分子のこと。ペアをつくるため、ほかの分子から電子を強引に奪いとろうとします。大気汚染やオゾン層の破壊による紫外線の増加などにより、このフリーラジカルが非常に発生しやすくなっています。電子を奪いとられた分子を「酸化」されたといえます。

活性酸素には、フリーラジカル(スーパーオキシド、ヒドロキシラジカル)とフリーラジカルではないもの(過酸化水素、一重項酸素)があります。フリーラジカルは酸素が体内で変質し、フリーラジカル化したもの。酸素を含む物質の中でもとくに活性が強いため、健康な細胞を破壊してしまう有害な分子なのです。同じ活性酸素の中でも、過酸化水素などはペアがいる電子なのでフリーラジカルではありません。

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P128 <リンパを流す方法>

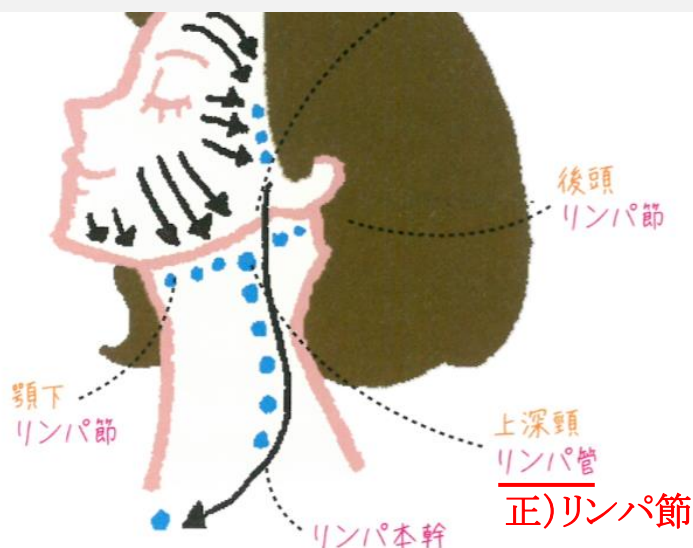
誤) 上深頸リンパ管 → 正) 上深頸リンパ節 【3カ所】

リンパを流す方法

正)リンパ節

上深頸リンパ管、耳下腺リンパ節、顎下リンパ節、後頭リンパ節、リンパ本幹などのリンパ節を、指の関節などで押しほくします。次に、顔の外側へ軽く圧をかけながらマッサージ。最後に上深頸リンパ管の耳の下から矢印のように押し流します。

正)リンパ節



[正誤表]

・P135上段 <カフェインとのつきあい方>

誤) 血液収縮作用 → 正) 血管収縮作用

<カフェインとのつきあい方>

正) 血管収縮作用

コーヒーや紅茶、緑茶などに多く含まれるカフェイン。神経を興奮させ、血液収縮作用もあるため、とりすぎは身体にも肌にも悪いのです。カフェインを含むものは1日に2杯を目安とし、就寝前は避けましょう。栄養ドリンクにも入っていることが多いので注意して。

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」に誤植・誤掲載箇所がありました。

下記の正誤表の通り訂正させていただくとともに、深くお詫び申し上げます。

[正誤表]

・P139 6 解答

誤)活性酵素 → 正)活性酸素

6 米国皮膚科学会による発表では肌老化の約何%が紫外線によるものとされているか。

1. 30% 2. 50% 3. 80% 4. 98%

【解答】 3

米国皮膚科学会では、肌の老化の約80%は紫外線による光老化であるといわれている。紫外線を浴びると皮膚の中で活性酵素が発生し、細胞にダメージを与え活動を弱め、コラーゲン線維・エラスチン線維なども破壊するため、肌が乾燥してゴワゴワしたり、しわ・たるみを生じやすく肌の老化を促進させる。

正)活性酸素

「日本化粧品検定2級・3級対策テキスト(2017年2月20日 第4刷)」の変更点について

第7刷より、新たな監修者に参画いただいたことにより、P117-119の記載内容に対し、一部変更が生じました。
下記のご確認をお願い申し上げます。

[変更点]

- ・P117 9行目

第4刷) 生理前に分泌されるもので → 第7刷) 排卵後に分泌されるもので

さらに、女性にとって悩ましいものとして肌に不調をもたらす「黄体ホルモン(プロゲステロン)」があげられます。生理前に分泌されるもので、皮脂分泌を増やしニキビをできやすくさせるといわれています。イライラしたり、むくみのもとになるのもこのホルモンなの

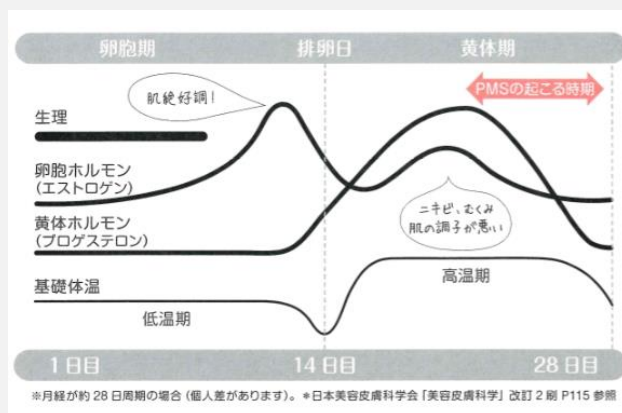
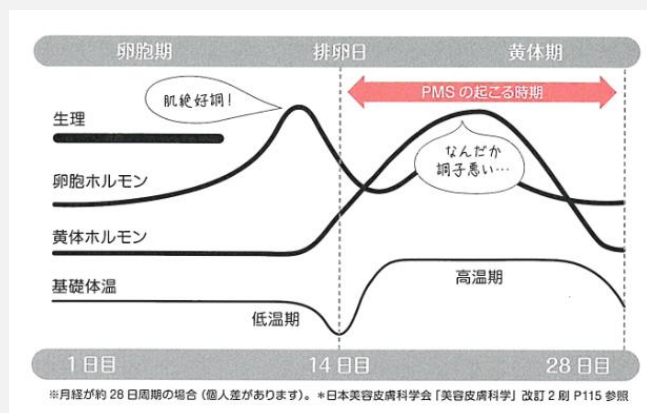
変更) 排卵後

[変更点]

- ・P118 グラフ

第4刷)

第7刷)



[変更点]

- ・P118【PMSとは?】1行目

第4刷) 生理が始まる前、排卵後から約14日間に起こりやすい



第7刷) 生理が始まる前、黄体期の後半約10日間に起こりやすい

PMSとは? 

生理が始まる前、排卵後から約14日間に起こりやすい、イライラ、腹痛、

変更) 黄体期の後半約10日間

一般社団法人 日本化粧品検定協会

TEL:03-6264-9446 mail:info@cosme-ken.org